

令和3年10月18日  
総合政策局国際政策課

## 交通分野におけるSDGs実現に向けた取組を世界に発信

～第2回「国連・持続可能な交通のための会議」の結果概要～

令和3年10月15日、第2回「国連・持続可能な交通のための会議」に齊藤国土交通大臣が出席しました。本会議では、交通分野のSDGs実現に向けた取組の共有や課題解決に向けた方策について議論が行われました。

### 結果概要

#### ○開催日時、形式

令和3年10月14日(木)～10月16日(土)(北京とオンラインのハイブリッド形式)

#### ○参加国等

グテーレス国連事務総長、劉振民国連事務次長・経済社会局長の他、日本、中国、ロシア、韓国等、世界36カ国の首脳、交通担当大臣等が参加

#### ○会議の概要

交通分野における「持続可能な開発目標(SDGs)」を実現するため、国連機関、各国政府、産業界、学識者が参加し、イノベーション、貧困撲滅、地域開発、気候変動、都市開発等のテーマ毎にセッションが設けられ、3日間にわたり、開催されました。

各セッションでは、それぞれのテーマに関する各国の取組を共有するとともに、課題解決に向けた議論が行われ、最終的に、北京宣言としてとりまとめられました。

齊藤大臣は、15日にビデオメッセージにて、以下の3つの課題について、我が国の取組を紹介した上で、課題解決に向けた我が国の貢献や各国との連携の必要性について発言しました。

#### 1. 新型コロナウイルスの感染拡大の防止と交通事業者の持続的な運営の両立

- ・我が国は、感染拡大防止策と合わせ、交通事業者に対し資金繰りと雇用確保に向けた様々な支援策を講じており、今後は、新規感染者数の減少を踏まえ、ワクチン接種や陰性証明を活用し、段階的に移動・旅行を再開していく方針である。
- ・ウィズ・コロナ時代において、利用者が安心して公共交通を利用し、交通事業の持続的な運営を確保する方策について議論を深めていきたい。

#### 2. 気候変動への対応

- ・我が国は、気候変動を食い止めるため、2050年にカーボンニュートラルを達成すべく、公共交通の利用促進、デジタル化による物流効率化、電気自動車の導入促進、持続可能な航空燃料(SAF)の普及促進、カーボンニュートラルポートの形成等の取組を強化している。

- ・防災・減災対策として、「流域治水対策」、線状降水帯による豪雨の気象予測精度の向上、道路、鉄道、空港等の交通施設の強化に取り組んでいる。
- ・日本の取組を共有するとともに、我が国の質の高いインフラシステムを広く海外に展開していく。

### 3. ユニバーサル社会の実現

- ・高齢者、様々な障害を持った方々を含め誰もが円滑に公共交通を利用できるよう我が国は、鉄道駅へのエレベーター、ホームドアの設置、ノンステップバスの導入等に加え、最近では、新幹線に世界最高水準の車椅子用フリースペースを導入する等取組を加速化している。
- ・SDGsの包括目標である「誰一人取り残さない」社会を実現するため、世界各国と連携して取り組んでいきたい。

#### 〈成果文書〉

- ・Beijing Statement of the Second United Nations Global Sustainable Transport Conference

([https://www.un.org/sites/un2.un.org/files/gstc2\\_beijing\\_statement\\_16\\_oct\\_2021.pdf](https://www.un.org/sites/un2.un.org/files/gstc2_beijing_statement_16_oct_2021.pdf))



#### 【お問い合わせ先】

国土交通省総合政策局国際政策課 国際交渉官 新井、主査 沼田（内線 25756）  
 TEL : 03-5253-8111（代表）03-5253-8312（直通） FAX : 03-5253-1561